



2021年上期、力強い業績を達成

2021年度第2四半期決算
2021年10月28日

Better Health, Brighter Future

重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation) 」とは、本プレゼンテーションにおいて武田薬品工業株式会社 (以下、「**武田薬品**」) によって説明又は配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション (それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます) は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法に基づく登録又は登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく) 情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で (受領者に対して提供される追加情報と共に) 提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性がございます。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社 (we, us 及び our) 」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本資料に記載されている製品名は、武田薬品または各所有者の商標または登録商標です。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積り、予測、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets) 」、「計画する (plans) 」、「信じる (believes) 」、「望む (hopes) 」、「継続する (continues) 」、「期待する (expects) 」、「めざす (aims) 」、「意図する (intends) 」、「確実にする (ensures) 」、「だろう (will) 」、「かもしれない (may) 」、「すべきであろう (should) 」、「であろう (would) 」、「することができた (could) 」、「予想される (anticipates) 」、「見込む (estimates) 」、「予想する (projects) 」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の業績は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の業績とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一時的な経済条件を含む当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品および既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、当社が事業を行う国の政府を含む当社とその顧客及び供給業者又は当社事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI (買収後の統合活動) の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核事業を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社のウェブサイト (<https://www.takeda.com/investors/reports/sec-filings/>) 又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書及び当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果は武田薬品の将来の経営結果又はその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証又は見積りではありません。

財務情報および国際会計基準に準拠しない財務指標

当社の財務諸表は、IFRSに基づき作成しております。

本プレゼンテーションには、実質的な売上収益、Core営業利益、実質的なCore営業利益、Core純利益、実質的なCore EPS、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社役員は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本プレゼンテーションに含まれるIFRS以外の指標に基づき行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も近いIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社役員は、投資家の皆様に対し、当社の経営状況、主要な業績及び動向の更なる分析のための付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません (IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります)。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、本プレゼンテーションの33-36、46-55、58ページに記載した、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

医療情報

本プレゼンテーションには、製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献する



私たちはこの約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続けます。

PATIENTS

すべての患者さんのために



PEOPLE

ともに働く仲間のために



PLANET

いのちを育む地球のために



データとデジタルの力で、イノベーションを起こします



サイエンスを前進させ、より多くの患者さんの生活を豊かにする

ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、売上収益は大幅に増加
- グローバルブランド14製品の売上収益全体に占める割合が増加；2021年度を通じてさらなる成長の勢い
- 当社の革新的なR&D戦略と今後上市される約40の新規候補物質に対して自信
- 2021年度業績ガイダンスの一桁台半ばの成長率を維持
- 事業戦略への自信と株主への価値提供へのコミットメントへの裏付けとして自己株式取得を決定



当社の戦略への確信：トップラインとパイプラインの加速



グローバルブランド14製品によるトップライン成長の加速

- 2021年度上期の実質的な売上収益成長率は+6.8%¹、財務ベース売上収益成長率は+12.8%
- グローバルブランド14製品の実質的な売上収益成長率は+11.4%、現在、同製品群はCore売上収益全体の42%を占め、下期はさらなる成長加速を見込む
- 供給目標を達成するため血漿分画製剤のバリューチェーン全体にわたる運営効率化とイノベーションの推進。パンデミック以前の水準を継続して上回る血漿収集
- 実質的な売上収益成長率および実質的なCore営業利益成長率²「1桁台半ば」という2021年度通期業績ガイダンスを維持
- 2021年10月13日、米国食品医薬品局（FDA）は光工場の検査分類を自主的な是正を望む（VAI：Voluntary Action Indicated）に変更。FDAは、2020年6月付Warning Letterで指摘した事項は対処されたと判断し、本件を終了することを決定

革新的なパイプラインを通じて売上収益の成長に注力

- 約40の臨床段階にある革新性の高い開発パイプラインへの投資を継続し、下期に複数のPOC（プルーフ・オブ・コンセプト）マイルストーンを見込む
- ウェーブ1パイプラインからの最初の上市品としてEXKIVITYが米国承認。Maribavir使用についてFDAの諮問委員会³が全会一致で推奨（審査完了期間は11月23日）
- PevonedistatはHR-MDSにて主要評価項目を達成せず。TAK-994は安全性シグナルのために試験を終了し、次のステップについて評価中
- ハンター症候群におけるJCRファーマとの提携、細胞療法の創薬能力のさらなる強化を目指したGammaDelta Therapeutics社の買収を計画

**事業戦略への自信および株主への価値提供コミットメントの裏付けとして、
上限1,000億円の自己株式取得を決定**

1. 定義は15ページ、調整表は19、20ページをご参照下さい。

2. 2021年度通期業績予想およびガイダンスは18ページをご参照下さい。

5 3. ガンシクロビル、バルガンシクロビル、ホスカルネット、またはシドフォビルに対して遺伝子型抵抗性を示す移植後の難治性サイトメガロウイルス（CMV）感染に対する治療薬としてmaribavirの使用推奨。

COVID-19と闘うためのワクチンに関するパートナーシップの進捗



ワクチン

作用機序

現在の状況

**Novavax社
COVID-19ワクチン候補
TAK-019**
(Novavax社から導入)

SARS-CoV-2に対する
Matrix-M含有
リコンビナントスパイク
タンパクワクチン候補

- Novavax社のCOVID-19ワクチン候補について、同社との提携により、開発、製造（年間2億5,000万回接種分）、商業化を行い、国内の光工場でパンデミックとそれ以降に対応
- 1億5,000万回接種分のTAK-019の購入について日本政府（厚生労働省）と合意
- **規制当局による承認取得後、国内において2022年初頭に初回分の供給開始を目指す**

**COVID-19ワクチン
モデルナ筋注**
(Moderna社からの導入)

SARS-CoV-2に対する
mRNAワクチン

- Moderna社COVID-19ワクチンについて、日本政府（厚生労働省）、Moderna社、当社の3者間で、国内における1億回接種分の輸入・供給に関する合意
- **5,000万回接種分は日本に輸入済み**
- **追加の5,000万回接種分については、早ければ2022年初頭に輸入・供給開始の見込み**

- 2021年度ガイダンスには、モデルナ社ワクチンの最初の5,000万回接種分に関する収益貢献のみを織り込んでいる
- 国内におけるTAK-019の価格は厚生労働省との合意で決定予定で、製造設備の確立および国内での適切な臨床試験実施のための日本政府からの資金援助を考慮
- 国内におけるCOVID-19ワクチンモデルナ筋注の価格は、厚生労働省とModerna社との合意によって決定

グローバルブランド14製品の実質的な売上収益成長率は+11.4%で、 2021年度上期Core売上収益¹の42%を占める



2021年度上期のグローバルブランド14製品合計：6,922億円（62億米ドル²）
対前年同期+963億円（864百万米ドル²）

2021年度上期 売上収益				対前年同期	2021年度上期 売上収益				対前年同期
		(億円)	(百万米ドル)	(実質ベース)			(億円)	(百万米ドル)	(実質ベース)
	 vedolizumab	2,559	2,295	+18.1%		 (bixazomib) capsules	458	411	△1.1%
	 (Teduglutide (DNA origin)) for injection	368	330	+6.9%		 BRIGATINIB	62	56	+39.7%
	ALOFISEL	8	7	+166.8%					
	免疫グロブリン	1,813	1,626	+8.0%		TAKHZYRO (lanadelumab-fiyol) injection	475	426	+4.7%
	 [Immune Globulin Intravenous (Human)] 10%			+7.4%		 Rurioctog alfa pegol (Recombinant Coagulation Factor VIII)	300	269	△2.1%
	 Human Normal Immunoglobulin (IVig) 10% Solution			+4.4%			25	22	+50.4%
	 Human Normal Immunoglobulin (10%) Recombinant Human Hyaluronidase			+21.2%		 (idursulfase)	348	312	△1.5%
	 (Immune Globulin Subcutaneous (Human)) 20%			+35.0%			210	188	+7.2%
アルブミン ³	417	374							

1. 売上収益の割合は、日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却による1,330億円を控除したCoreベースを基に算出。対前年比は実質的な成長率。

2. 米ドルでの表記は1米ドル111.5円で換算した参考値。

3. Albumin Glass, Flexbuminおよび献血アルブミンを含みます。

注：売上収益の絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベース、対前年比は実質的な成長率。定義は34ページをご参照下さい。

当社のパイプラインは価値を提供し始めている



ウェブ1¹

臨床段階の新規候補物質

ウェブ2²

承認目標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度以降				
オンコロジー	EXKIVITY³ 2L NSCLC with EGFR exon 20 insertion mutation		EXKIVITY³ 1L NSCLC with EGFR exon 20 insertion mutation	TAK-007 CD19+ hematologic malignancies	subasumstat³ Multiple cancers modakafusp alfa³ R/R MM	TAK-676 Solid tumors TAK-605 Multiple cancers	TAK-252 Solid tumors TAK-186 EGFR Solid Tumor	TAK-102 Multiple cancers TAK-940 CD19+ hematologic malignancies	
希少遺伝子疾患 および血液疾患	maribavir R/R CMV infect. in transplant	TAK-609 Hunter CNS (IT) ⁴	maribavir 1L CMV infect. in HSCT TAK-755 cTTP	TAK-611 MLD (IT)	TAK-755 ITTP, SCD pabinafusp alfa⁶ Hunter Syndrome	mezagitamab MG, ITP	TAK-607 Complications of prematurity		
ニューロ サイエンス (神経精神疾患)			soticlestat DS soticlestat LGS	orexin 2R-ag TAK-994 ⁷ NT1	orexin 2R-ag TAK-861 NT1, NT2, IH, Other orexin 2R-ag TAK-925 Hospital setting, NT1	orexin 2R-ag TAK-994 ⁷ NT2, IH, Other TAK-071 Parkinson's Disease	TAK-653⁸ Inadequate resp. in MDD TAK-041⁸ Anhedonia in MDD	TAK-341 Parkinson's Disease	
消化器系疾患	Eohilia⁵ EoE Approval date TBD				TAK-999 AATD Liver Disease TAK-906 Gastroparesis	TAK-062 Celiac Disease TAK-954 POGD	TAK-101 Celiac Disease TAK-951 Nausea & vomiting	sibofimloc Crohn's Disease (post-op and ileitis) TAK-039 Hepatic encephalopathy	TAK-510 Nausea & vomiting TAK-105 Nausea & vomiting
ワクチン	TAK-019 Novavax COVID-19 Vaccine (JP) COVID-19ワクチン モデルナ筋注 (JP)	TAK-003 Dengue Vaccine			TAK-426 Zika Vaccine				

● 米国での画期的新薬指定
および/またはファストトラック指定

● 中国での画期的新薬指定
および/または日本での先駆け審査指定

少なくとも1つの適応症で
希少疾患用医薬品の可能性

承認

新規追加

8

- 承認日の予想はデータ読み出しに影響されます。ウェブ1の一部の承認目標日は迅速承認を想定。
- ウェブ2の一部は、取得データによりウェブ1に加速される可能性もあります。
- EXKIVITY (製品名) - mobocertinib (一般名) ; subasumstat (一般名) -TAK-981; modakafusp alfa (一般名) -TAK-573
- TAK-609の申請時期は、現在実施中の長期試験に対する規制当局からのフィードバック次第で変更の可能性あります。
- FDAと協議中、協議の結果に応じて承認される見込み。

6. Pabinafusp alfa (一般名) - JR-141、JCRファーマ社との提携。

7. TAK-994の承認タイムラインは検討中。

8. Neurocrine Biosciences社との提携。

当社の会計年度は翌3月31日まで。例：「2021年度」は2022年3月31日までの12カ月間。

全てのタイムラインは2021年10月28日時点におけるおおよその予測。疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

EGFRエクソン20挿入変異を有する非小細胞肺癌に対し、承認された初めてかつ唯一の経口剤

エクソン20挿入変異NSCLC市場



- 米国において、年間約2,000人がEGFRエクソン20挿入変異を有する非小細胞肺癌と診断



- 最近まで、有効な標的治療の選択肢は存在せず
- 白金製剤ベース化学療法後の2次治療患者さん（遺伝子変異に関わらず）に対するドセタキセル治療のmPFSは3~4カ月、ORRは約15%



- PCR検査での同定はすべてのEGFRエクソン20挿入変異の50%未満、次世代シーケンシング（NGS）検査ではすべてのエクソン20変異型を検出可能

EXKIVITY プロファイル



- 白金製剤ベースの化学療法後のEGFRエクソン20挿入変異を有する転移NSCLCに対して、米国FDAが2021年9月に迅速承認
- NGSコンパニオン診断薬が同時に承認され、EGFRエクソン20挿入変異患者さんの特定をサポート



- 実証された有効性：
 - ORR (IRC) : 28%
 - DoR : 17.5カ月
 - PFS : 7.3カ月
 - mOS : 24カ月



- 他のEGFR TKIと同様の安全性*



- 経口投与製剤

上市



- 米国上市後、1週間で最初の患者さんに投与



- ALUNBRIGと同じく肺疾患ポートフォリオのシナジー



- EXCLAIM試験のピボタルデータはJAMAに掲載
- 一次治療を対象としたEXKIVITY単剤と化学療法を比較する臨床第3相試験が進行中



- 2021年6月に欧州医薬品庁（EMA）に申請
- 中国において2021年7月に申請受理、ブレイクスルーセラピーに指定
- プロジェクトORBISの一部として追加申請

* EXKIVITYの警告・注意事項には、QTc延長やトルサード・ド・ポワント（枠囲み警告：Boxed Warning）、間質性肺炎、心毒性および下痢が含まれます。疾患名の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

mPFS=無増悪生存期間中央値、ORR=客観的奏効率、PCR=ポリメラーゼ連鎖反応、TKI=チロシンキナーゼ阻害剤、IRC=独立評価委員会、DoR=奏功期間、PFS=無増悪生存期間、mOS=全生存期間中央値

CMVに対する経口のウイルスプロテインキナーゼ阻害剤



疾患背景

- CMVは移植後のウイルス感染の中で最も一般的 (移植例の25%以上で発現)¹
- CMV感染は移植失敗率 (2~6倍) および死亡率 (2.6倍) を高める可能性²

規制当局対応 アップデート および マイルストーン

- 2021年10月、米国食品医薬品局 (FDA) 諮問委員会は、抵抗性の有無に関わらず、移植後の難治性CMV感染の患者さんに対してmaribavirの使用を全会一致で推奨
- FDAの審査完了目標日 (PDUFA date) は11月23日
- 2022年度上期に欧州で承認の可能性
- 造血幹細胞移植 (HSCT) 後のCMV感染の一次治療での開発は想定通り進み、2022年度上期にデータ読み出し予定
- HSCT後のCMV感染の一次治療については、2022年度半ばに米国での申請を見込む

難治性/抵抗性CMV感染における Maribavir Ph3 SOLSTICE試験 :

- 有効性における優越性 (IAT⁴の2倍以上)
- 良好な忍容性および安全性プロファイル
- 毒性 (好中球減少症/急性腎障害) は10分の1
- 経口投与

有効性および安全性³

maribavir
N=235

IAT⁴
N=117

主要評価項目 : ウイルス血症クリアランス

55.7%

p値<0.001

23.9%

好中球減少症

1.7%

(V) GCV : 25.0%

急性腎障害

1.7%

FOS : 19.1%

味覚障害

44.0%

1.7%

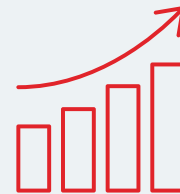
1. Stern et al. Front Microbiol. 2019 May28;10:1186. Ramanan et al. Solid Organ Transplantation: A Review. InfectChemother. 2013 Sep; 45(3): 260-27
 2. Stern et al. Transplantation. 2014 Nov 15;98(9):1013-8. Jorgenson et al. Transpl Infect Dis . 2019 Jun;21(3):e13080
 3. Duarteら、欧州骨髓移植学会議 (EBMT) 2021での発表
 4. IAT=治験責任医師が選択した治療

CMV=サイトメガロウイルス、(V) GCV=(バル) ガンシクロビル、FOS=ホスカルネット

当社は、財務上のコミットメントを遂行しており、売上収益成長および高い利益率による力強いキャッシュ・フローを見込んでいます。当社のバリューおよび「Patients、People、Planet」へのコミットメントに基づき、患者さんおよび株主に対する価値を最大化するための資本配分を行います。



資本



成長ドライバー
への投資



レバレッジの
速やかな低下



株主還元



革新的な医薬品の継続的な創出に向けて、上半期の業績は好調に推移

- 2021年度上期の実質的な売上収益成長率は+6.8%、グローバルブランド14製品の実質的な売上収益成長率は+11.4%
- 2021年度通期業績ガイダンスを維持
- 約40の臨床段階にある革新性の高い開発パイプライン：短期的および長期的な価値を創出
- 事業戦略への自信および株主への価値提供コミットメントの裏付けとして、自己株式取得を決定；確立された配当方針の維持
- 強力なポートフォリオと革新的なパイプラインにより、人々の健康に貢献し未来へと導く体制が整う

質疑応答



クリストフ・ウェバー
代表取締役社長 CEO



コスタ・サルウコス
チーフ フィナンシャル
オフィサー



岩崎 真人
日本管掌

APPENDIX



「Core」と「実質的な成長」の定義



当社は、事業の計画策定および業績評価において、「実質的な成長」（Underlying Growth）の概念を採用しております。

「実質的な成長」は、当年度と前年度（四半期もしくは年間）の業績を共通の基準で比較するものであり、マネジメントによる業績評価に使用されています。これら共通の基準で比較される業績は、年間計画レートをを用いた為替レートを一定として、事業等の売却影響およびその他の非定常的もしくは特別な事象に基づく影響、本業に起因しない事象（非中核）による影響を控除し算定されます。当社は、この「実質的な成長」が、事業活動のパフォーマンスを表す共通の基準を提供するため、投資家に有用であると考えています。なお、本指標は、国際会計基準(IFRS)に準拠したものではありません。

当社は、「**Underlying Revenue Growth**」（**実質的な売上収益の成長**）、「**Underlying Core Operating Profit Growth**」（**実質的なCore営業利益の成長**）および「**Underlying Core EPS Growth**」（**実質的なCore EPSの成長**）を重要な財務指標としています。

実質的な売上収益は、為替レートを一定として、財務ベースの売上収益に、報告期間における非定常的な事象に基づく影響および事業等の売却影響を調整して計算します。

Core売上収益は、売上収益から、重要性のある本業に起因しない（非中核）事象による影響を控除して算出します。

実質的なCore営業利益は、為替レートを一定として、Core営業利益（以下に定義）に、報告期間における事業等の売却影響を調整して計算します。

実質的なCore EPSは、為替レートを一定として、純利益から、事業等の売却影響、およびCore EPS（以下に定義）の算出において控除された項目を調整した後、比較年度末の自己株式控除後の発行済株式総数で除して算定します。

Core売上収益は、売上収益から、重要性のある本業に起因しない（非中核）事象による影響を控除して算出します。

Core営業利益は、純利益から、法人所得税費用、持分法にかかる投資損益、金融損益、その他の営業収益およびその他の営業費用、製品に係る無形資産償却費及び減損損失を控除して算出します。その他、非定常的な項目、企業買収に係る会計処理の影響、買収関連費用など、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。

Core EPSは、純利益から、Core営業利益の算出において控除された項目と営業利益以下の各科目のうち、重要性のある、非定常的もしくは特別な事象に基づく影響、本業に起因しない（非中核）事象による影響を調整します。これらには、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。さらに、これらの調整項目に係る税金影響を控除した後、報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算定します。

「フリー・キャッシュ・フロー」の定義



当社が、フリー・キャッシュ・フローをお示しする理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、本指標が投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。本指標は、当社の経営陣が特に流動性要件を満たす能力及び資本配分方針をサポートする能力に関連している、当社の流動性及びキャッシュ・フローを評価する際にも使用しています。また、本指標は、投資家の理解にとって、当社の非中核事業及び投資ポートフォリオの戦略的な売却がどのようにキャッシュ・フローや流動性に貢献しているかを理解するうえで有用であると考えています。

当社のフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得、無形資産の取得、投資の取得及び即時的または一般的な業務用に使えないいかなるその他の現金を除き、有形固定資産の売却による収入、投資の売却・償還による収入及び事業売却による収入（売却した現金及び現金同等物の純額）を含むように調整しています。

フリー・キャッシュ・フローの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資の売却・償還による収入及び事業売却による収入（売却した現金及び現金同等物の純額）は、非中核事業・資産の売却という現在の戦略の実行を反映していますが、中核事業となる継続的な事業からの収入は反映していません。フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。

「EBITDA」、 「調整後EBITDA」、 「純有利子負債」 の定義



EBITDA及び調整後EBITDA

当社がEBITDA及び調整後EBITDAをお示しする理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、有用と考えられることにあります。また、調整後EBITDAは、変化に富み予測が困難であるが故に経営とは無関係な諸要素により不透明となり、業績に実質的な影響を与え得る、また、継続的に期間毎の業績を評価することに困難にし得る事業全体の動向を、投資家の皆様が把握する際に有用と考えられます。

EBITDA及び調整後EBITDAは、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。これらの指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得ます。

EBITDA及び調整後EBITDAの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i)製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです。また、(ii)業績評価において重視され得る一定の財務情報、例えば、企業買収や無形資産の償却による影響を除外しております。さらに、(iii)一定期間において継続して生じ得る一定の事項を除外しており、また、(iv)投資家において当社の長期的な観点からの経営には無関係ととらえる事項、例えば、事業売却の影響等を必ずしも除外しておりません。これらのIFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠する当期利益（損失）と同視してはならず、また、これらに代わるものととらえてはなりません。投資家の皆様におかれましては、当社の財務諸表全体を把握し、当社業績、事業価値及び収益予想を評価する基礎となる指標としてはIFRS準拠財務指標に依拠し、また、EBITDA及び調整後EBITDAは補足的な指標として用いられるようお願い申し上げます。

当社においては、EBITDAは、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、並びに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、調整後EBITDAは、減損損失、その他の営業収益・費用（減価償却費及び償却費を除く）、金融収益・費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益及び企業結合会計影響や取引関連費用などの当社の中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

IFRSに準拠した指標の中では当期利益が最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、本プレゼンテーションの44-45ページをご参照下さい。

純有利子負債

当社が、純有利子負債をお示しする理由は、当社の経営陣が、当社の負債、現金及び現金同等物をモニター及び分析するために本指標を使用し、また当社のレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家の皆様にとって有用であると考えているためです。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであると考えています。

当社の純有利子負債は、以下により算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 期初に残存する外貨建て負債を直近12か月の期中平均レートを用いて換算し、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算するものであり、当社の経営陣が当社のレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています。また、(ii) S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づく株式に似た特徴を評価して、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンが2019年6月に発行したハイブリッド債（劣後債）の元本総額5,000億円に対して、50%のエクイティクレジットを適用しています。この数字から現金及び現金同等物及び即時的または一般的な業務用に使えない現金を控除し、純有利子負債を算出しています。

純有利子負債の有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社の負債に支払われる利息の金額を反映していません、(iii) 当社の負債に対する当社の前払い能力又は償還能力の制限を反映していません、(iv) 当社が現金同等物を現金に換金する際に、ある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に、当社が負担する可能性のある手数料、費用又はその他の費用を反映していません、(v) 有利子負債には、当社のローン契約と整合性のある平均為替レートが適用されますが、これは当社がある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社は合理的であると考えていますが、当社の劣後債の金額はそれらの負債性に影響を及ぼさないことから、持分法による投資利益を反映しています。純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債、借入金及びその他の負債指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替ととらえられてはならないものです。

IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は社債と借入金とが最も類似します。IFRSにおいて最も類似した指標との照合については、本プレゼンテーションの53ページをご参照下さい。

実質的な売上収益成長率および実質的なCore営業利益成長率について 「一桁台半ば」の2021年度通期ガイダンスを維持



(億円)	2021年度 前回予想 (2021/5)	2021年度 今回予想 (2021/10)	実質的な成長率 ² (マネジメントガイダンス) (2021年5月から変更なし)
財務ベース売上収益	33,700	33,700	一桁台半ばの成長率
研究開発費	△5,220	△5,220	
財務ベース営業利益	4,880	4,880	
Core営業利益 ¹	9,300	9,300	一桁台半ばの成長率 約30%の利益率
財務ベースEPS (円)	160	117	一桁台半ばの成長率
Core EPS (円)	394	394	
フリー・キャッシュ・フロー	6,000-7,000	6,000-7,000	
1株当たり年間配当 (円)	180	180	

第1四半期に引当計上したAbbVie社の違約金に関連した税務費用を反映して修正

2021年度業績予想における重要な前提条件：

- (1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な流行拡大に伴う、業績に対する重大な影響は現時点までに生じておりません。当社は、COVID-19は2021年度の当社業績に対して重大な影響を及ぼすことはないと思われ、現時点で入手可能な情報に基づき考えており、当社の2021年度業績予想はこの考え方を反映しています。しかしながら、COVID-19を取り巻く状況は引き続き非常に流動的であり、新規または追加的な流行拡大や、主要市場におけるロックダウンや屋内退避命令の新規の措置や延長、その他政府による対策など、2021年度中の進展によっては、当社製品の需要減少やサプライチェーンに関連する問題の発生、または臨床試験の大幅な遅延など当社事業に深刻な影響を与える可能性があります。このような事態が生じた場合、当社事業や経営成績、財政状態に追加的な影響が及び、また、当社の2021年度業績は予想から大きく乖離する可能性があります。
- (2) 「ベルケイド」については、2021年度の半ば頃には、505(b)2申請に基づく皮下投与製剤の新たな競合品が少なくとも1つ米国において上市されることを見込んでおります。
- (3) 米国の「NATPARA」については、2021年度中に再販売することを見込んでおりません。
- (4) 事業等の売却については、公表済みの案件以外の将来の売却可能性の影響を考慮しておりません。

2021年度 上期

財務ベース売上収益からCore売上収益/実質的な売上収益への調整表



(億円)	2020年度 上期	2021年度 上期	対前年同期	
売上収益	15,908	17,944	+2,036	+ 12.8%
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却*2	—	△1,330	△1,330	△8.4pp
Core売上収益	15,908	16,614	+706	+ 4.4%
為替影響*1				△3.9pp
事業等の売却影響*2				+6.3pp
地域ポートフォリオ				+4.6pp
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ				+1.0pp
TACHOSIL				+0.5pp
その他				+0.2pp
実質的な売上収益の成長				+ 6.8%

1. 為替影響は2021年度および2020年度に計画レートを適用して算出しています。

2. 主な調整項目は以下の通りです。

- 2020年11月に売却が完了したアジア太平洋における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度上期の売上収益を控除して調整しております。
- 2020年12月に売却が完了した主に欧州における一部の非中核資産である医療用医薬品に係る2020年度上期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年1月に売却が完了した中南米における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度上期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年1月に売却が完了した「TachoSil」（手術用パッチ剤）の2020年度上期の売上を控除して調整しております。
- 2021年3月に売却が完了した主に欧州における一部の一般用医薬品および非中核資産に係る2020年度上期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年3月に売却が完了した従来子会社であった武田コンシューマーヘルスケア株式会社の2020年度上期の売上収益を控除して調整しております。
- 2021年4月1日に売却が完了した日本における糖尿病治療剤ポートフォリオ（ネシーナ錠、リオベル配合錠、イニシク配合錠、ザファテック錠）に係る2020年度上期の売上を控除して調整しております。また、売却完了により計上された非定期的な譲渡価額1,330億円は2021年度上期の売上収益から控除して調整しております。
- 売却が公表され、当年度上期中の売却完了を見込んでいた中国における一部の非中核資産である医療用医薬品に係る2021年度上期および2020年度上期の売上収益を控除して調整しております。本件は、2021年度下期中に売却完了する見込みです。

2021年度 上期



財務ベース売上収益からCore売上収益/実質的な売上収益への調整表

(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整						Core	Coreから実質ベースへの調整		Underlying Growth (実質ベースの成長)
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	アイルランド税務評価 ¹	その他		為替影響	事業等の売却影響	
売上収益	17,944				△1,330			16,614	△648	△89	+6.8%
売上原価	△5,171				6		223	△4,941	218	26	
売上総利益	12,774				△1,324		223	11,672	△430	△62	
販売費及び一般管理費	△4,319				10		21	△4,287	170		
研究開発費	△2,541						13	△2,528	87		
製品に係る無形資産償却費	△2,041	2,041						—			
製品に係る無形資産減損損失	△15		15					—			
その他の営業収益	195			△188			△7	—			
その他の営業費用	△594			594				—			
営業利益	3,460	2,041	15	406	△1,314		250	4,857	△172	△62	+6.4%
対売上収益比率	19.3%							29.2 %			29.1% ²
金融損益	△580						△4	△585	52		
持分法損益	△35						64	28	1		
税引前当期利益	2,844	2,041	15	406	△1,314		310	4,301	△119	△62	
法人所得税費用	△1,007	△455	△5	△115	402	637	△399	△942	25	19	
非支配持分	△1							△1	—		
当期利益	1,836	1,586	9	292	△912	637	△90	3,359	△94	△43	
EPS (円)	117							214	△5	△3	+9.1%
株式数 (百万)	1,568							1,568			1,563

1. 2014年にShire社がAbbVie社からの買収申し出の取下げに関連して受領した違約金に対するアイルランドでの課税を巡る税務評価から生じた税務費用637億円と関連する税務便益5億円の純額です。
2. 実質的なCore営業利益率

純有利子負債/調整後EBITDA



純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2021年度 上期
現金および現金同等物 ¹	4,248
貸借対照表上の負債簿価	△42,314
ハイブリッド社債の50%資本性認定	2,500
為替調整 ²	1,073
有利子負債 ³	△38,741
純有利子負債	△34,493
純有利子負債/調整後EBITDA倍率	3.1 x
調整後EBITDA	11,122

キャッシュの純増減

(億円)	2020年度 上期	2021年度 上期	対前年同期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,920	4,000	+80	+2.0%
有形固定資産の取得による支出	△505	△606		
有形固定資産の売却による収入	385	4		
無形資産の取得による支出	△304	△252		
投資の取得による支出	△62	△36		
投資の売却、償還による収入	506	101		
事業取得による支出	—	△275		
事業売却による収入	314	21		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増減額	△899	△0		
長期借入金の返済による支出	△7,925	△2,201		
社債の発行による収入	11,795	—		
社債の償還による支出	△4,731	△2,209		
利息の支払額	△476	△527		
配当金の支払額	△1,418	△1,416		
その他	△581	△221		
現金の増減額 (△は減少)	20	△3,617	△3,638	—

1. 各期末日の翌日から1年以内に償還期限の到来する短期投資を含み、ワクチン運営のための制限付き預り金を除く。
2. 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から期中残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算している。報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算している。
3. 流動・非流動の社債および借入金。2019年6月に5,000億円のハイブリッド債を発行、格付け機関から認定された50%の資本性である2,500億円を負債から控除。また、負債簿価への資金性および非資金性調整を含む。非資金性の調整には、負債償却と為替影響を含む。

当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整

2021年度 上期実績 対前年同期



(億円)	2020年度 上期	2021年度 上期	対前年同期	
当期利益	866	1,837	+971	+112.2%
法人所得税費用	390	1,007		
減価償却費及び償却費	2,805	2,836		
純支払利息	682	589		
EBITDA	4,743	6,270	+1,527	+32.2%
減損損失	83	15		
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	275	368		
金融収益・費用（純支払利息を除く）	129	△9		
持分法による投資損益	89	35		
その他の調整項目	651	△729		
COVID-19に係る非中核費用	—	55		
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	—	△1,314		
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	466	178		
Shire社買収に係る費用	0	—		
その他の費用 ¹	185	352		
調整後EBITDA	5,971	5,950	△21	△0.4%

1. 株式報酬にかかる非資金性の費用とShire社買収後に優先順位を下げたパイプラインに係る非定期的なプログラム中止コストの調整を含みます。

当期利益からEBITDA/調整後EBITDA（LTM）への調整



(億円)	2020年度 通期 (4-3月)	2020年度 上期	2021年度 上期	2021年度 上期 LTM ¹ (10-9月)
当期利益	3,762	866	1,837	4,733
法人所得税費用	△99	390	1,007	518
減価償却費及び償却費	5,597	2,805	2,836	5,627
純支払利息	1,290	682	589	1,198
EBITDA	10,549	4,743	6,270	12,076
減損損失	255	83	15	186
その他の営業収益・費用（減価償却費、償却費及びその他の非資金項目を除く）	△745	275	368	△652
金融収益・費用（純支払利息を除く）	141	129	△9	2
持分法による投資損益	△1	89	35	△55
その他の調整項目	1,314	651	△729	△66
COVID-19に係る非中核費用	140	—	55	195
日本の糖尿病治療剤ポートフォリオ売却	—	—	△1,314	△1,314
Shire社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	794	466	178	506
Shire社買収に係る費用	19	0	—	19
その他の費用 ²	361	185	352	528
調整後EBITDA	11,513	5,971	5,950	11,492
売却した製品に係るEBITDA ³				△370
調整後EBITDA（LTM）				11,122

1. 2021年9月30日までの過去12ヶ月（LTM: Last Twelve Months）、2020年度通期から2020年度上期を控除し、2021年度上期を加算して算出しています。
2. 株式報酬にかかる非資金性の費用とShire社買収後に優先順位を下げたパイプラインに係る非定常的なプログラム中止コストの調整を含みます。
3. 調整後EBITDAのLTM算出にあたり、売却した製品に係るEBITDAを調整しています。

2021年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表



(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					Core
		無形資産 に係る 償却費	無形資産 に係る 減損損失	その他の 営業収益/ 費用	日本の 糖尿病治療剤 ポートフォリオ 売却	その他	
売上収益	33,700				△1,330		32,370
売上原価					30	350	
売上総利益					△1,300	350	
販売費及び一般管理費						40	
製品に係る無形資産償却費	△4,060	4,060					—
製品に係る無形資産減損損失	△500		500				—
その他の営業収益	230			△230			—
その他の営業費用	△1,000			1,000			—
営業利益	4,880	4,060	500	770	△1,300	390	9,300

略語の用語集



地域に関する略語:

CN: 中国; EU: 欧州; JP: 日本; US: 米国

AATD	α1-antitrypsin deficiency (α1アンチトリプシン欠乏症)	CRPS	complex regional pain syndrome (複合性局所疼痛症候群)	IH	idiopathic hypersomnia (特発性過眠症)	PBS	phosphate buffered saline (リン酸緩衝生理食塩水)
AD	Alzheimer's disease (アルツハイマー病)	CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma (皮膚T細胞性リンパ腫)	IND	investigational new drug (治験薬)	PCAB	potassium competitive acid blocker (カリウムイオン競合型アシッドブロッカー)
ADC	antibody drug conjugate (抗体薬物複合体)	cTTP	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura (先天性の血栓性血小板減少性紫斑病)	iNHL	indolent non-Hodgkin's lymphoma (低悪性度非ホジキンリンパ腫)	PBS	phosphate buffered saline (リン酸緩衝生理食塩水)
ADHD	attention deficit hyperactivity disorder (注意欠陥多動性障害)	DAAO	D-amino acid oxidase (D-アミノ酸酸化酵素)	I/O	immuno-oncology (がん免疫治療)	PCAB	potassium competitive acid blocker (カリウムイオン競合型アシッドブロッカー)
AHA	acquired hemophilia A (後天性血友病A)	DEE	developmental and epileptic encephalopathies (けいれん性てんかん重積状態)	iTTP	immune thrombotic thrombocytopenic purpura (免疫性血栓性血小板減少性紫斑病)	Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia (フィラデルフィア染色体陽性ヒト急性リンパ性白血病)
ALK	anaplastic lymphoma kinase (未分化リンパ腫キナーゼ)	DLBCL	diffuse large B cell lymphoma (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)	IV	intravenous (静脈投与)	PID	primary immunodeficiency (原発性免疫不全)
ALCL	anaplastic large-cell lymphoma (未分化大細胞型リンパ腫)	DS	Dravet syndrome (ドラベ症候群)	iPSC	induced pluripotent stem cells (人工多能性幹細胞)	PK	pharmacokinetics (薬物動態)
AML	acute myeloid leukemia (急性骨髄性白血病)	DU	duodenal ulcer (十二指腸潰瘍)	L-ASA	low dose aspirin (低用量アスピリン)	POC	proof of concept (概念実証)
ASCT	autologous stem cell transplant (自家幹細胞移植)	Dx	diagnosis (診断)	LBD	Lewy Body Dementia (レビー小体病)	POGD	post-operative gastrointestinal dysfunction (術後消化器機能障害)
ARD	acid-related diseases (酸関連疾患)	EDS	excessive daytime sleepiness (日中の過度の眠気)	LB AML	low-blast acute myeloid leukemia (低プラスト急性骨髄性白血病)	POI	post-operative ileus (術後イレウス)
AVA	Advanced Vial Access (改良型バイアルアクセス)	EE H	erosive esophagitis healing (びらん性食道炎の治癒)	LSD	lysosomal storage disorder (ライソゾーム病)	PTCL	peripheral T-cell lymphoma (末梢性T細胞リンパ腫)
BBB	blood brain barrier (血液脳関門)	EE M	erosive esophagitis maintenance (びらん性食道炎の再発予防)	LCM	lifecycle management (ライフ・サイクル・マネジメント)	PTH	parathyroid hormone (副甲状腺ホルモン)
BLA	biologics license application (生物製剤承認申請)	EFI	enteral feeding intolerance (経腸栄養不耐性)	LGS	Lennox-Gastaut Syndrome (レノックス・ガストー症候群)	R/R	relapsed/refractory (再発/難治)
BMA	bradykinin mediated angioedema (ブラジキニン介在性血管性浮腫)	EGFR	epidermal growth factor receptor (上皮増殖因子受容体)	mAb	monoclonal antibodies (モノクローナル抗体)	RCC	renal cell cancer (腎細胞がん)
BTD	breakthrough therapy designation (画期的新薬指定)	EMA	European Medicines Agency (欧州医薬品庁)	MAOB	monoamine oxidase B (モノアミン酸化酵素B)	RTK	receptor tyrosine kinase (受容体チロシンキナーゼ)
BTK	Bruton's tyrosine kinase (ブルトン型チロシンキナーゼ)	EOE	eosinophilic esophagitis (好酸球性食道炎)	MDD	major depressive disorder (大うつ病)	sALCL	systemic anaplastic large cell lymphoma (全身性未分化大細胞リンパ腫)
BOS	budesonide oral solution (ブデソニド経口懸濁液)	ESCC	esophageal squamous-cell carcinoma (食道扁平上皮がん)	MG	myasthenia gravis (重症筋無力症)	SBS	short bowel syndrome (短腸症候群)
CAR-T	chimeric antigen receptor-T (次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞)	FDA	the U.S. Food & Drug Administration (米国食品医薬品局)	MLD	metachromatic leukodystrophy (異染性白質ジストロフィー)	SC	subcutaneous formulation (皮下投与製剤)
CD	Crohn's disease (クローン病)	FL	front line (フロントライン適応)	MM	multiple myeloma (多発性骨髄腫)	SCD	sickle cell disease (鎌状赤血球症)
CHAWI	congenital hemophilia A with inhibitors (インヒビター保有先天性血友病A)	FSI	first subject in (最初の患者登録)	NAE	NEDD8 activating enzyme (NEDD8活性化酵素)	SCT	stem cell transplant (幹細胞移植)
CHMP	Committee for Medicinal Products for Human Use (欧州医薬品評価委員会)	GCC	guanylyl cyclase C (グアニル酸シクラーゼC)	ND	newly diagnosed (新たに診断された)	SCZ	schizophrenia (統合失調症)
CIAS	cognitive impairment associated with schizophrenia (統合失調症に伴う認知障害)	GERD	gastroesophageal reflux disease (胃食道逆流症)	NDA	new drug application (新薬承認申請)	SID	secondary immunodeficiency (続発性免疫不全)
CIDP	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	GI	gastrointestinal (胃腸)	Neg	negative (陰性)	SLE	systemic lupus erythematosus (全身性エリテマトーデス)
CLL	chronic lymphocytic leukemia (慢性リンパ性白血病)	GnRH	gonadotropin-releasing hormone (ゴナドトロピン放出ホルモン)	NERD	non-erosive reflux disease (非びらん性胃食道逆流症)	sq	squamous (扁平上皮)
CML	chronic myeloid leukemia (慢性骨髄性白血病)	GU	gastric ulcer (胃潰瘍)	NHL	non-Hodgkin's lymphoma (非ホジキンリンパ腫)	STING	stimulator of interferon genes (インターフェロン遺伝子刺激因子)
CMML	chronic myelomonocytic leukemia (慢性骨髄単球性白血病)	GvHD	graft versus host disease (移植片対宿主病)	NK	natural killer (ナチュラルキラー)	SUMO	small ubiquitin-related modifier (低分子ユビキチン様修飾因子)
CMV	cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)	HAE	hereditary angioedema (遺伝性血管浮腫)	NME	new molecular entity (新規候補物質)	TESD	treatment emergent sexual dysfunction (治療に起因する性機能障害)
CSF	cerebrospinal fluid (脳脊髄液)	H2H	head to head (直接比較)	NMPA	National Medical Products Administration (中国国家薬品监督管理局)	TKI	tyrosine kinase inhibitor (チロシンキナーゼ阻害剤)
CNS	central nervous system (中枢神経系)	HCC	hepatocellular carcinoma (肝細胞がん)	NSCLC	non-small cell lung cancer (非小細胞肺癌)	TRD	treatment resistant depression (治療抵抗性うつ病)
CPF	complex perianal fistulas (肛門周囲複雑瘻孔)	HemA	hemophilia A (血友病A)	NSCT	non stem cell transplant (非幹細胞移植)	UC	ulcerative colitis (潰瘍性大腸炎)
CRL	complete response letter (審査完了報告通知)	HER2	human epidermal growth factor receptor 2 (ヒト上皮成長因子受容体2)	NT1 or NT2	narcolepsy Type 1 (ナルコレプシータイプ1) or narcolepsy Type 2 (ナルコレプシータイプ2)	vWD	von Willebrand disease (フォン・ヴィレブランド病)
		HL	Hodgkin's Lymphoma (ホジキンリンパ腫)	ORR	objective response rate (客観的奏効率)		
		HR MDS	high risk myelodysplastic syndromes (高リスク骨髄異形成症候群)	OSA	obstructive sleep apnea (睡眠時無呼吸症候群)		
		HSCT	hematopoietic stem cell transplant (造血幹細胞移植)	PARP	poly (ADP-ribose) polymerase (ポリADPリボースポリメラーゼ)		
		IBD	inflammatory bowel disease (炎症性腸疾患)	PAS	prior approval supplement (重大な変更: 事前変更申請)		